

清洲城下町遺跡出土の動物遺体

新美倫子*・鈴木正貴

*名古屋大学博物館

清洲下町遺跡は愛知県清須市に所在する戦国時代から織豊期の拠点的城市・城下町遺跡である。2010・2011年の調査地点は、1478年～16世紀前葉には武家屋敷、16世紀中葉～1610年には鍛冶屋や鋳物師などの職人の活動域として利用されたと考えられる。この調査で出土した動物遺体は、土坑等の遺構覆土を対象に1mm目篩による水洗選別が行われて検出されたものが主体であり、発掘調査時に採集された資料もある。

これら動物遺体のうち、発掘時に採集された貝類についてはすでに報告されており、本論ではそれ以外の資料の内容を報告する。資料の量は少ないものの、遺跡でさまざまな海水魚・淡水魚が利用されており、他地域から流通によって持ち込まれた種も利用されていることなどが明らかになった。また、出土例の少ない中世後半期のニワトリの形質を知ることでもできた。

はじめに

本稿では県道助七西市場線建設工事に伴う清洲城下町遺跡の発掘調査（10A・10B・11A・11B・11C区）で出土した動物遺体について報告する。この発掘調査の成果は『清洲城下町遺跡XI』（鈴木編2013）で報告されているが、自然遺物については川添和暁による貝類の分析結果（川添2013）が添付CD-ROMに所収されているに過ぎず、その他の動物遺体については全く分析が行われていない。今回、川添報告の貝類を除く動物遺体を詳細に分析する機会を得たので、これを紹介する。

資料の考古学的紹介

清洲城下町遺跡は愛知県清須市に所在する戦国時代から織豊期の拠点的城市・城下町遺跡で、濃尾平野を南流する五条川中流域の低平な沖積地に立地する。調査地点は清須城本丸の南約1kmに所在し、1478年～16世紀前葉は武家屋敷、16世紀中葉～1610年は鍛冶屋や鋳物師などの職人が集中して活動した地点と推定された。特に1586年以降の城下町期後期には短冊型地割の町屋が並ぶ場所と想定される。

今回紹介する動物遺体は1mmメッシュの水洗篩別作業によって検出されたものが大部分を

占める。水洗篩別作業は、検出された約1500基の遺構のうち炭化物や鉄滓を多く含む長方形土坑や石埋設遺構と炉跡の周辺および竪穴状遺構の床面など51基の遺構覆土を対象に、当初金属加工に伴う微細遺物の採取を目的に実施した（表1）。この結果、鍛造剥片や炭化物の他に、45基の遺構から動物遺体が出土した。この他に、通常の遺物採取による資料が存在する。

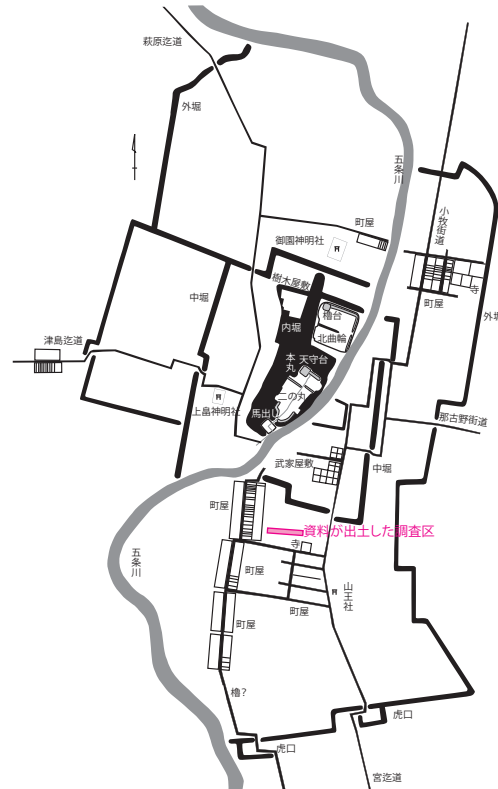


図1 後期清須城下町の復元と資料の出土位置

区	グリッド	遺構	サンプル名称 (地点)	日付	水洗土壌量 (1mm篩別)	貝類	魚類 椎骨 その他	鳥類	ほ乳 類	骨片
11A	3568J	0081SK	土サンプル	110914	ビニール袋1					
11A	3565F	0106SK	土サンプル	110915	ビニール袋1					
11A	3566O	0109SP	土サンプル	110915	ビニール袋1					
11A		0161SK	土サンプル	110928	土糞袋6	●	●			
11A		0176SK	土サンプル	110928	土糞袋9	●	●			●
11A			土サンプル(NO.2)	110928		●	●			
11A		0187SK	土サンプル(NO.3)	110928	土糞袋11	●	●			
11A			土サンプル(NO.4)	110928			●			●
11A		0197SK	土サンプル	110928	土糞袋3	●	●			●
11A		0205SK	土サンプル	110928	土糞袋3	●	●			●
11A		0210SK	土サンプル	110928	土糞袋7	●	●			●
11A		0225SK	土サンプル	110928	土糞袋1	●	●			●
11A		0226SK	土サンプル	110928	土糞袋10	●	●		●	●
11A		0229SK	土サンプル	110928	土糞袋3	●	●			●
11A		0277SK	土サンプル	110928	土糞袋10	●	●			●
11A		0280SK	土サンプル	111007	土糞袋10	●	●			●
11A			炉内サンプル	111006	土糞袋1		●			●
11A		0346SL	伊外サンプル	111007	土糞袋1	●	●			●
11A	3467W		土サンプル	111013	土糞袋10		●			●
11A	3565KL	0363SK	土サンプル	111012	土糞袋5	●	●		●	
11A		0321SK	北壁セクション187層	111024	土糞袋1					●
11A		-	北壁セクション151層	111024	土糞袋1					●
11A		0060SK	北壁セクション118層	111024	土糞袋1					●
11A		0052SK	北壁セクション27層	111024	土糞袋1					●
11B			土サンプル8	111107	ビニール袋1					●
11B			土サンプル9	111107	ビニール袋1					
11B			土サンプル11	111107	ビニール袋1					
11B		0508SP	土サンプル12	111107	ビニール袋1					
11B		0509SP	土サンプル34	111107	ビニール袋1					●
11B			土サンプル53	111107	ビニール袋1					
11B			土サンプル61	111107	ビニール袋1					●
11B			土サンプル67	111107	ビニール袋1					
11B			土サンプル69	111107	ビニール袋1					●
11B			土サンプル6	111205	ビニール袋1					●
11B		0640SL	土サンプル7	111205	ビニール袋1					●
11B	3563R	0664SK	土サンプル	111117	土糞袋2	●	●			●
11B		0669SK	土サンプル	111110	土糞袋1					●
11B		0678SK	土サンプル	111109	土糞袋3	●				●
11B		0692SK	土サンプル	111114	土糞袋1					●
11B		0696SD	土サンプル	111114	土糞袋2					●
11B		0719SP	土サンプル	111114	ビニール袋1					
11B		0725SK	土サンプル	111115	土糞袋1					●
11B		0730SK	土サンプル	111121	土糞袋2					●
11B	3564L	0809SL	土サンプル	111124	土糞袋1					●
11B		0824SD	土サンプル	111124	土糞袋9	●	●			
11B		0825SK	土サンプル	111125	土糞袋2	●				
11B	3564UJ		3564UJ土サンプル1	111114	ビニール袋1					●
11B	3564UJ		3564UJ土サンプル10	111114	ビニール袋1					
11B	3564UJ		3564UJ土サンプル14	111115	ビニール袋1					
11B	3564UJ		3564UJ土サンプル15	111115	ビニール袋1					
11B	3564UJ		3564UJ土サンプル17	111114	ビニール袋1					
11B	3564UJ		3564UJ土サンプル44	111114	ビニール袋1	●				
11B	3564UJ		3564UJ土サンプル28	111115	ビニール袋1					
11B	3564UJ	0652SI	3564UJ土サンプル32	111115	ビニール袋1					●
11B	3564UJ		3564UJ土サンプル33	111115	ビニール袋1					
11B	3564UJ	床面	3564UJ土サンプル34	111115	ビニール袋1					
11B	3564UJ		3564UJ土サンプル41	111115	ビニール袋1					
11B	3564UJ		3564UJ土サンプル38	111115	ビニール袋1					
11B	3564UJ		3564UJ土サンプル41	111115	ビニール袋1					
11B	3564UJ		3564UJ土サンプル43	111115	ビニール袋1					
11B	3564UJ		3564UJ土サンプル44	111115	ビニール袋1					
11B	3564UJ		3564UJ土サンプル49	111115	ビニール袋1					
11B	3565CDHII	0643SI	3565CDHII土サンプル7	111114	ビニール袋1					
11B	3565CDHII	床面	3565CDHII土サンプル29	111114	ビニール袋1					
11C	3561O	0914SK	土サンプル	111208	土糞袋4	●	●			●
11C	3560FK		土サンプル	111208			●	●		●
11C	3560FK	0915SK	下層土サンプル	111208	土糞袋4					●
11C	3560FK		下層土サンプル	111208	土糞袋量不明					●
11C	3561I	0917SK	土サンプル	111208	土糞袋1					●
11C	3561O	0939SL	土サンプル3	111208	土糞袋1					●
11C	3561IQ		土サンプル	111209	土糞袋量不明					●
11C			I901SP	111203	ビニール袋1					
11C			I902SP北半	111203	ビニール袋1					
11C			I902SP南半その1	111203	ビニール袋1					
11C			I902SP南半その2	111203	ビニール袋1					
11C			I903SP	111203	ビニール袋1					
11C		0949SK	I904SP	111203	ビニール袋1					
11C			I905SP	111203	ビニール袋1					
11C			土サンプル	111209		●	●			●
11C			土サンプル	111212	土糞袋34					●
11C	3561G		土サンプル	111212		●	●		●	●
11C			下層土サンプル	111213						●
11C			下土サンプル	111216	土糞袋4	●			●	●
11C			土サンプル2	111213	ビニール袋1					
11C			土サンプル6	111213	ビニール袋1					
11C			土サンプル11	111213	ビニール袋1					
11C			土サンプル12	111213	ビニール袋1					
11C			土サンプル14	111213	ビニール袋1					
11C			土サンプル17	111213	ビニール袋1					
11C			土サンプル21	111213	ビニール袋1					●
11C			土サンプル23	111213	ビニール袋1					
11C			土サンプル24	111213	ビニール袋1					
11C			土サンプル28	111213	ビニール袋1					
11C			土サンプル29	111213	ビニール袋1					
11C			土サンプル30	111213	ビニール袋1					
11C			土サンプル31	111213	ビニール袋1					
11C			土サンプル32	111213	ビニール袋1					
11C			土サンプル33	111213	ビニール袋1					
11C			土サンプル34	111213	ビニール袋1					
11C			土サンプル35	111213	ビニール袋1					
11C			土サンプル	111213	ビニール袋1					
11C		0959SK	土サンプル	111213	土糞袋3	●	●			●
11C		0963SK	土サンプル	111214	土糞袋4	●	●		●	●
11C		0974SK	土サンプル	111214	土糞袋2	●	●		●	●
11C		0977SK	土サンプル	111214	土糞袋1	●	●		●	●
11C		0978SK	土サンプル	111213	土糞袋2	●	●		●	●
11C		0989SK	土サンプル	111216	土糞袋1	●	●		●	●
11C		0981SP	土サンプル	111216		●	●		●	●
11C		0982SP	土サンプル	111216	土糞袋6	●	●		●	●
11C			掘土直上土サンプル	111216		●	●		●	●
11C		0987SK	土サンプル	111219	土糞袋量不明	●	●		●	●
11C		1014SK	土サンプル	111220	土糞袋量不明	●	●		●	●
11C			下層土サンプル	111220	土糞袋量不明	●	●		●	●
11C		1021SE	土サンプル	111222	土糞袋量不明	●	●		●	●
10A	3471V	検出	検出1	100525	水洗せず					●
11A		0187SK	(魚)		水洗せず	●				
11A	3567L	0354SP		111007	水洗せず					●
11C	3561H	0974SK		111215	水洗せず				●	
11C	3561MQR	0979SK		111216	水洗せず				●	
11C	3561G	0981SP		111216	水洗せず				●	
11C	3560N	0990SD	土層	111215	水洗せず				●	
11C	3561L	検出	検出2	111212	水洗せず					●
11C	3561F	検出	検出3	111219	水洗せず					●

表 1 水洗篩別した土壌サンプル一覧

表 2 動物遺体出土遺構一覧

遺構番号	区	グリッド	時期	遺構の種類
0052SK	11A	3467W	城下町期Ⅲ期?	長方形土坑 (小)
0060SK	11A	3467X・Y	城下町期Ⅲ-1期	柱穴
0081SK	11A	3566F・他	城下町期Ⅲ期?	長方形土坑 (小)
0106SK	11A	3566J	城下町期Ⅲ-1期	炉跡
0109SP	11A	3566N	城下町期Ⅲ期?	柱穴
0161SK	11A	3567A・他	城下町期Ⅲ-2期	楕円形廃棄土坑か
0176SK	11A	3567L・M	城下町期Ⅲ-1期	長方形土坑 (中)
0187SK	11A	3567D	城下町期Ⅱ-C期	長方形土坑 (小)
0197SK	11A	3567N・O	城下町期Ⅲ期	長方形土坑 (小)
0205SX	11A	3566C・他	城下町期Ⅲ期?	長方形土坑 (中)
0210SK	11A	3567J・他	城下町期Ⅲ-1期	楕円形廃棄土坑
0225SK	11A	3566J・J	城下町期Ⅲ期	楕円形廃棄土坑
0226SK	11A	3566D	城下町期Ⅲ期?	長方形土坑 (小)
0229SK	11A	3566I・N	城下町期Ⅲ-1期	長方形土坑 (小)
0277SK	11A	3567G・他	城下町期Ⅲ-1期	長方形土坑 (中)
0280SK	11A	3567H・M	城下町期Ⅲ-2期	長方形土坑 (小)
0321SK	11A	3466X・他	13世紀中頃	長方形土坑 (小)
0346SL	11A	3467V	城下町期Ⅱ-C期	炉跡
0354SP	11A	3567K	城下町期Ⅱ期?	柱穴
0363SK	11A	3566O・他	城下町期Ⅲ-2期	長方形土坑 (小)
0508SP	11B	3565S	城下町期Ⅲ期	石埋設遺構
0509SP	11B	3565S	城下町期Ⅲ期	石埋設遺構
0640SL	11B	3564E	城下町期Ⅲ期?	炉跡
0652SI	11B	3564H・他	城下町期Ⅱ-B期~Ⅲ-1期	竪穴状遺構
0664SK	11B	3563L・他	城下町期Ⅲ-1期	長方形土坑 (中)
0669SK	11B	3563S・T	城下町期Ⅲ-2期	長方形土坑 (中)
0678SX	11B	3563O・他	城下町期Ⅱ期?	長方形土坑 (極小)
0692SK	11B	3564N・O	城下町期Ⅲ-2期	長方形土坑 (小)
0696SD	11B	3564D・I	城下町期Ⅲ-2期	区画溝、水路?
0719SP	11B	3563O	城下町期Ⅲ期?	柱穴
0725SK	11B	3565C・他	城下町期Ⅱ期	長方形土坑 (小)
0750SK	11B	3563Q・R	城下町期Ⅱ-C期	長方形土坑 (中)
0809SL	11B	3564L	城下町期Ⅲ-1期	炉跡
0824SK	11B	3563H	城下町期Ⅲ期	長方形土坑 (大)
0825SK	11B	3563F・他	城下町期Ⅰ期?	長方形土坑 (大)
0914SK	11C	3561O・他	城下町期Ⅲ-1期	長方形土坑 (小)
0915SK	11C	3561O・他	城下町期Ⅱ期	長方形土坑 (中)
0916SI	11C	3561A・他	城下町期Ⅲ-2期	竪穴状遺構
0917SK	11C	3561I・J	城下町期Ⅲ-2期	長方形土坑 (小)
0939SL	11C	3561A・他	城下町期Ⅲ-1期	炉跡
0949SK	11C	3561B・他	城下町期Ⅲ-1期	粘土貼付土坑
0959SK	11C	3560R・S	城下町期Ⅲ期?	楕円形廃棄土坑
0963SK	11C	3660 J	城下町期Ⅲ期	長方形土坑 (極小)
0974SK	11C	3561G・他	城下町期Ⅲ-1期	長方形土坑 (中)
0977SK	11C	3561F・他	城下町期Ⅲ-1期	長方形土坑 (中)
0978SK	11C	3561G	城下町期Ⅲ期?	楕円形

動物遺体が出土した遺構の大部分は、上述した経緯から金属加工に伴う遺構群と考えられ、時期は城下町期Ⅱ-C期～城下町期Ⅲ-2期（大窯第3段階後半～連房式登窯第1小期：1575年頃～1610年）に位置づけられる。例外は13世紀中頃の柱穴0321SK、城下町期Ⅰ期の長方形土坑0825SK、城下町期Ⅰ～Ⅱ期の溝0990SD、および城下町期Ⅱ-B期の井戸1021SEの4基のみである（表2）。（鈴木正貴）

動物遺体の同定

出土動物遺体資料のうち、発掘時に採集された貝類についてはすでにその内容が報告されているので（川添2013）、本論で扱うのはそれ以外の資料である。これらはコンテナ（内寸35cm×55cm×9cm）に1箱分であり、遺構ごとに資料の所属時期と内容を記載し、説明を加えることとする。表3に出土した動物種名を示し、表4～9に出土内容を示した。また、

表3 出土動物種名

I.貝類

1 ウミナナ類	7 コイ科の一種	18 カレイ類
2 ハマグリ	8 サヨリ類	
3 アサリ	9 タラ類	III.鳥類
	10 ボラ類	1 ニワトリ

II.魚類

11 スズキ	12 マダイ	IV.哺乳類
1 エイ類	13 タイ類	1 ネズミ類
2 イワシ類	14 サバ類	2 シカ
3 ウナギ	15 ハゼ類	3 ヒト
4 アユ	16 カサゴ類	4 イヌ
5 フナ類	17 コチ類	5 ウマ
6 コイ		

表4 貝類出土内容

区	遺構	時期	種・出土量	計	備考
11A	0187SK	城下町期Ⅱ-C期			貝片あり
11B	0652SI床面	城下町期Ⅱ-B期～Ⅲ-1期			貝片あり
11B	0678SX	城下町期Ⅱ期？			貝片あり
11B	0692SK	城下町期Ⅲ-2期			貝片あり
11B	0825SK	城下町期Ⅰ期？			貝片あり
11C	0949SK	城下町期Ⅲ-1期			貝片あり
11C	0974SK	城下町Ⅲ-1期	ハマグリ右1焼、ウミナナ類1焼、不明巻貝芯27焼	29	焼貝片あり
11C	0978SK	城下町期Ⅲ期？			貝片あり
11C	0982SP	城下町期Ⅲ期？	ハマグリ左1、右2、不明小型巻貝3 不明巻貝芯48、22焼	76	焼貝片あり
11C	0987SK	城下町期Ⅲ期？	ハマグリ左1、不明巻貝芯2焼	3	焼貝片あり
計			108	108	

註 二枚貝は殻頂部の数を、巻貝は芯の数を数えた。左：左殻、右：右殻、焼：焼けた資料。

既報告の貝類内容も表10に再掲した。

なお、元国立歴史民俗博物館の西本豊弘先生には種同定に関して御教示をいただき、愛知県埋蔵文化財センターの鈴木正貴氏にはこの資料を分類する機会を与えていただいた。ここに感謝いたします。

1、貝類（表4）

貝類の大部分はすでに報告済みであり、未報告資料のうち二枚貝では殻頂部、巻貝では芯が残る資料は108点である。これらは3カ所の遺構で出土したが、その半数程度は非常によく焼けており、種が判明したのはハマグリ5点とウミナナ類1点のみであった。ハマグリは殻頂3～4cm程度の個体と思われる。破損して芯だけになったため種不明の巻貝は99点出土しており、キサゴ程度の大きさの資料が多いが、タマキビ程度の大きさの芯も見られた。0974SKでは焼けた資料のみが出土したが、0982SP・0987SKでは焼けた資料と焼けていない資料が混在して出土しており、焼けたアサリ破片も見られた。

2、魚類（表5・6）

魚類は鱗を除いて466点が出土し、このうち歯130点以外の336点の中で同定可能な資料は170点であり、種を同定できた資料は111点となった。椎骨資料の内容を表5に、椎骨以外の資料の内容を表6に示した。

同定可能資料の多くは0982SP・0987SKから出土した。0982SP・0987SKは0981SPと共に0988SIの内部施設であり、これらは一括して0988SI埋土出土資料としてとらえた

表 5 魚類出土内容（推骨）

区	遺構	時期	イワシ類	コイ科	カサゴ類	カレイ類	タイ類	サヨリ類	ハゼ類	ウナギ	コチ類	サバ類	その他	種不明	計	同定不可 椎骨破片
11A	0161SK	城下町期Ⅲ-2期														1、3焼
11A	0187SK	城下町期Ⅱ-C期	1	フナ類1								1	ボラ類1		4	3
11A	0197SK	城下町期Ⅲ期														1焼
11A	0205SK	城下町期Ⅲ期？											タラ類1焼	1焼	2	15焼
11A	0210SK	城下町期Ⅲ-1期				1焼									1	1焼
11A	0225SK	城下町期Ⅲ期														6焼
11A	0226SK	城下町期Ⅲ期？	2焼											1焼	3	12焼
11A	0277SK	城下町期Ⅲ-1期	1焼	1焼	1焼									1焼	4	3焼
11A	0346SL	城下町期Ⅱ-C期														1焼
11A	0363SK	城下町期Ⅲ-2期														2焼
11B	0664SK	城下町期Ⅲ-1期														1焼
11B	0824SK	城下町期Ⅲ期	3焼												3	5焼
11C	0914SK	城下町期Ⅲ-1期														1焼
11C	0949SK	城下町期Ⅲ-1期		フナ類1焼	1焼									4焼	6	3、18焼
11C	0959SK	城下町期Ⅲ期？												1焼	1	4焼
11C	0963SK	城下町期Ⅲ期	1焼		3焼									1焼	5	22焼
11C	0974SK	城下町期Ⅲ-1期	1											7	8	2、3焼
11C	0977SK	城下町期Ⅲ-1期												1	1	3、1焼
11C	0981SP	城下町期Ⅲ期？		フナ類2										1	3	1
11C	0982SP	城下町期Ⅲ期？	8 3焼	1 フナ類6	4	1	4 2焼	1	3	1	2		エイ類1 アユ1	12 2焼	52	20 5焼
11C	0987SK	城下町期Ⅲ期？	6	3	1、1焼	4		4	1	2	1	1、1焼	ボラ類1	21	47	16、4焼
11C	0989SK	城下町期Ⅲ期？	1焼											2	3	4、3焼
11C	1014SK	城下町期Ⅲ-1期												1焼	1	
11C	1014SK															2焼
計			27	15	11	6	6	5	4	3	3	3	5	56	144	166

註 1/2～2/3程度以上残存している資料を種同定し、それ以下の資料は同定不可破片とした。焼：焼けた資料。

表 6 魚類出土内容（推骨以外）

区	遺構	時期	マダイ	カサゴ類	スズキ	コイ科	その他	種不明	計	歯	鱗破片
11A	0161SK	城下町期Ⅲ-2期								1、5焼	
11A	0176SK	城下町期Ⅲ-1期								3焼	
11A	0187SK	城下町期Ⅱ-C期					コチ類前上顎骨右1		1	1、1焼	
11A	0197SK	城下町期Ⅲ期								1焼	
11A	0205SK	城下町期Ⅲ期？						鋤骨1焼	1	27焼	
11A	0225SK	城下町期Ⅲ期								2焼	
11A	0226SK	城下町期Ⅲ期？								3焼	
11A	0277SK	城下町期Ⅲ-1期								3焼	
11A	0280SK	城下町期Ⅲ-2期								1焼	
11A	0346SL	城下町期Ⅱ-C期								2焼	
11A	0363SK	城下町期Ⅲ-2期						関節骨右1焼	1		
11B	0664SK	城下町期Ⅲ-1期								2焼	
11B	0824SK	城下町期Ⅲ期								1	
11C	0914SK	城下町期Ⅲ-1期								1焼	
11C	0915SK	城下町期Ⅱ期								3	
11C	0949SK	城下町期Ⅲ-1期								2焼	
11C	0959SK	城下町期Ⅲ期？								3焼	
11C	0963SK	城下町期Ⅲ期						方骨右1焼	1	3焼	
11C	0974SK	城下町期Ⅲ-1期	方骨右1焼						1	3焼	○
11C	0977SK	城下町期Ⅲ-1期		方骨右1					1		◎
11C	0978SK	城下町期Ⅲ期？									○
11C	0981SP	城下町期Ⅲ期？				フナ類 咽頭歯破片1			1	1	○
11C	0982SP	城下町期Ⅲ期？	前上顎骨右1、上後頭骨1 前頭骨破片1切断、1焼切断 前頭骨一部+上後頭骨1切断	上顎骨右1 歯骨右1、1焼 関節骨左1	前上顎骨左1 関節骨右1	フナ類 前上顎骨右1	タラ類 前上顎骨左1焼 歯骨右1焼 イワシ類鰓蓋骨左1		15	48、4焼	◎
11C	0987SK	城下町期Ⅲ期？			歯骨左1、 前鰓蓋骨右1	鰓蓋骨右1、 コイ鰓蓋骨左1			4	6	◎
11C	0989SK	城下町期Ⅲ期？								2	
11C	1014SK	城下町期Ⅲ-1期								1焼	
11C	1021SE	城下町期Ⅱ-B期									○
計			6	5	4	4	4	3	26	130	

註 ◎：多量に出土、○：少量出土。焼：焼けた資料。切断：切断痕のある資料。

表7 鳥類出土内容

区	遺構	時期	ニワトリ	種不明	計
11C	0915SK	城下町期Ⅱ期		指骨1焼	1
11C	0963SK	城下町期Ⅲ期		中足骨左上1焼	1
11C	0974SK	城下町期Ⅲ-1期	橈骨左1		1
11C	0977SK	城下町期Ⅲ-1期		破片1	1
11C	0979SK	城下町期Ⅲ-2期	中足骨左1♂		1
11C	0982SP	城下町期Ⅲ期？	環椎1、軸椎1、橈骨右1 尺骨左1、右1、中足骨右1♂ 頭蓋骨1、指骨27、椎骨2	指骨3	39
11C	0987SK	城下町期Ⅲ期？		上腕骨左1、尺骨右下1 四肢骨破片1	3
計			38	9	47

註 上：近位部、下：遠位部、上・下のないものは完存。焼：焼けた資料。

表8 哺乳類出土内容

区	遺構	時期	ネズミ類	その他	計
10A	3471V検出	城下町期		ウマ下第4前臼歯左1	1
11A	0226SK	城下町期Ⅲ期？	下顎骨右破片1焼		1
11A	0354SP	城下町期Ⅱ期？		ウマ下臼歯破片3	3
11A	0363SK	城下町期Ⅲ-2期	上腕骨右下1焼		1
11C	3561F検出	城下町期		家畜破片3	3
11C	3561L検出	城下町期		ヒト腓骨左中間1	1
11C	0949SK	城下町期Ⅲ-1期	歯2	ヒトor家畜破片1	3
11C	0974SK	城下町期Ⅲ-1期	歯7		7
11C	0977SK	城下町期Ⅲ-1期	歯1		1
11C	0978SK	城下町期Ⅲ期？	距骨左1焼		1
11C	0981SP	城下町期Ⅲ期？	歯1	イヌ大腿骨左上1、左？下1 ヒト大腿骨左中間1	4
11C	0982SP	城下町期Ⅲ期？	歯8、肩甲骨右1、脛骨左下1 踵骨右2、椎骨3		15
11C	0987SK	城下町期Ⅲ期？	下顎骨左1、上腕骨左下2、尺骨左1、右1 踵骨右1、中手中足骨2、椎骨7		15
11C	0989SK	城下町期Ⅲ期？		シカ角破片3焼	3
11C	0990SD	城下町期Ⅱ期		ウマ中足骨中間1	1
11C	1021SE	城下町期Ⅱ-B期	上腕骨左1、右1		2
計			46	16	62

註 表5参照。中間：中間部。

方がいいのかもわからない。同定可能資料のうち 1/4 ほどにあたる 44 点はよく焼けており、0205SK や 0226SK のように焼けた資料のみが少量出土した遺構も多いが、多数の資料が出土した 0982SP・0987SK では焼けた資料と焼けていない資料が混在し、焼けていない資料の方が多かった。また、0982SP・0987SK では焼けていない鱗破片も多く出土した。

種を同定できた資料のうちではイワシ類が 28 点と最も多く、次いで多いコイ科が 19 点出土した。他にはカサゴ類 16 点、マダイを含

むタイ類 12 点、カレイ類 6 点、サヨリ類 5 点、スズキ・ハゼ類・コチ類が各 4 点、ウナギ・サバ類・タラ類が各 3 点、ボラ類 2 点、エイ類・アユが各 1 点出土している。種不明とした椎骨 56 点の多くは長さ 1～2mm 程度のごく小さな資料である。

イワシ類は鰓蓋骨 1 点を除いて全て椎骨であるが、焼けていない資料で見るといずれも体長 18.5cm 現生マイワシ標本より少し小さなものから半分程度の大きさであった。コイ科には「フナ類・コイと同定できた資料」と「フナ類・

表9 骨片・焼骨片出土量

区	遺構	時期	骨片	焼骨片	計
11A	0052SK	城下町期Ⅲ期?		3	3
11A	0060SK	城下町期Ⅲ-1期		5	5
11A	0176SK	城下町期Ⅲ-1期		11	11
11A	0187SK	城下町期Ⅱ-C期		3	3
11A	0197SK	城下町期Ⅲ期		1	1
11A	0205SK	城下町期Ⅲ期?		294	294
11A	0210SK	城下町期Ⅲ-1期		45	45
11A	0226SK	城下町期Ⅲ期?		117	117
11A	0277SK	城下町期Ⅲ-1期		139	139
11A	0280SK	城下町期Ⅲ-2期		6	6
11A	0321SK	13世紀中頃		4	4
11A	0346SL	城下町期Ⅱ-C期		57	57
11A	0363SK	城下町期Ⅲ-2期		35	35
11B	0664SK	城下町期Ⅲ-1期		40	40
11B	0508SP・0509SP周辺	城下町期Ⅲ期		12	12
11B	0640SL	城下町期Ⅲ期?		8	8
11B	0652SI床面	城下町期Ⅱ-B期～Ⅲ-1期		3	3
11B	0669 S K	城下町期Ⅲ-2期		5	5
11B	0692SK	城下町期Ⅲ-2期		3	3
11B	0696SD	城下町期Ⅲ-2期		1	1
11B	0725SK	城下町期Ⅲ期		11	11
11B	0750SK	城下町期Ⅱ-C期		4	4
11B	0809SL	城下町期Ⅲ-1期		1	1
11C	0914SK	城下町期Ⅲ-1期		19	19
11C	0915SK	城下町期Ⅲ期		18	18
11C	0917SK	城下町期Ⅲ-2期		1	1
11C	0939SL	城下町期Ⅲ-1期		1	1
11C	0949SK	城下町期Ⅲ-1期	5	320	325
11C	0959SK	城下町期Ⅲ期?		112	112
11C	0963SK	城下町期Ⅲ期		215	215
11C	0974SK	城下町期Ⅲ-1期	7	245	252
11C	0977SK	城下町期Ⅲ-1期	10	15	25
11C	0978SK	城下町期Ⅲ期?		9	9
11C	0989SK	城下町期Ⅲ期?	43	28	71
11C	0981SP	城下町期Ⅲ期?	25	8	33
11C	0982SP	城下町期Ⅲ期?	349	119	468
11C	0987SK	城下町期Ⅲ期?	246	3	249
11C	0988SI床面	城下町期Ⅲ期		2	2
11C	1014SK	城下町期Ⅲ-1期		19	19
11C	1021SE	城下町期Ⅱ-B期	9		9
計			694	1942	2636

コイ・ウグイ類に似ているが若干異なるタイプのもの」が含まれる。フナ類とした資料は椎骨・前上顎骨・咽頭歯破片が12点、コイとした資料は鰓蓋骨1点であるが、フナ類は体長20cmの現生ゲンゴロウブナ標本と比較すると2/3程度の大きさのことが多い。カサゴ類は椎骨と頭部の部位が見られ、体長20cm前後の個体が多いと思われる。

マダイを含むタイ類とした資料では頭部の部位6点がマダイであり、このうち3点到切断痕が見られた。なおタイ類では、カウントしない資料であるため表4に記載せず表7の焼骨片に含めたが、0205SK・0346SL・0974SKにおいて前上顎骨または歯骨の焼けた破片が

それぞれ1点・3点・1点ずつ出土しており、0982SPでは前上顎骨または歯骨の焼けた破片3点と上顎骨の焼けた破片1点が出土した。カレイ類は全て椎骨で、ほとんどがイシガレイに似たタイプであり、体長20cm台の個体と思われる。スズキは頭部の部位のみが見られ、体長35cm現生標本と比べて少し大きな資料から2/3程度の資料まで見られた。

サヨリ類・ハゼ類・ウナギ・サバ類・ボラ類は椎骨のみが見られた。サヨリ類はいずれも体長30cm前後の個体である。ハゼ類は体長16cm現生標本より少し小さな資料であり、ウナギは体長45cm現生標本と同程度の大きさの椎骨と小さな椎骨の両方が含まれていた。サバ類は焼けていない資料は体長32cm現生マサバ標本の4/5～2/3ほどの大きさだが、焼けた椎骨はかなり大きい個体である。ボラ類は体長39cm現生ボラ標本の3/4程度の大きさの椎骨とかなり小さな椎骨が見られた。コチ類は大型の前上顎骨と小さな椎骨が見られた。タラ類の椎骨は焼けて破損しているために種を確定することはできないが、マダラの可能性が高い。前上顎骨・歯骨も焼けて破損しており、前上顎骨はスケトウダラまたはマダラであり、歯骨はマダラの可能性が大きいと思われる。

3、鳥類（表7）

鳥類は47点が出土したが、このうち38点はニワトリで同一個体の可能性が高い。0982SPで同一個体と思われる頭蓋骨・環椎・軸椎・椎骨・橈骨・尺骨・中足骨・指骨が計36点出土し、0974SK出土の橈骨と0979出土の中足骨もそれぞれの形質が0982SP出土資料と非常によく似ている。この個体は中足骨に蹴爪があることから雄であり、右橈骨は長さ68.4mm、右尺骨は長さ75.7mmで、いずれも現生オナガドリ雄標本よりも少し長く、現生白色レグホン雌標本とほぼ同じ長さである。右中足骨は長さ86.5mmで、現生オナガドリ雄よりも長く、現生白色レグホン雌よりもわずかに長い。頭蓋骨の大きさは現生オナガドリ雄と同程度であった。出土した部位には、全身の中でも肉量の多い上腕・胸・腿の部位が含まれておらず、頭部・手羽先部分・中足骨から先といったあまり肉のついていない部位がまとまって廃

棄されている。

種が同定できたのはニワトリのみで、種不明とした上腕骨・尺骨・中足骨はいずれも小型の鳥である。なお、鳥類では焼けた資料は種不明の2点のみであった。

4、哺乳類（表8）

哺乳類は62点が出土したが、その3/4ほどの46点はネズミ類であった。これらはドブネズミと思われる資料が多いが、0982SP出土の右踵骨1点と1021SE出土の左右の上腕骨はドブネズミよりずっと小型のネズミのものであった。おそらくこれらは食料として利用されたわ

けではなく、後から遺構内に入りこんだのであろう。

ネズミ類以外にはウマ5点、シカ3点、イヌ2点、ヒト2点が見られた。ウマは破損した下顎前臼歯と歯破片と中足骨中間部が見られたが、この中足骨中間部は左右不明である。シカは3点とも角破片でよく焼けている。ヒトは大腿骨中間部と腓骨中間部が出土し、大腿骨中間部はやや細く、おそらく若い個体であろう。イヌ大腿骨2点は保存状態がきわめて悪い。哺乳類では焼けた資料はシカ3点を含めて6点であり、シカ以外の3点はネズミ類であった。

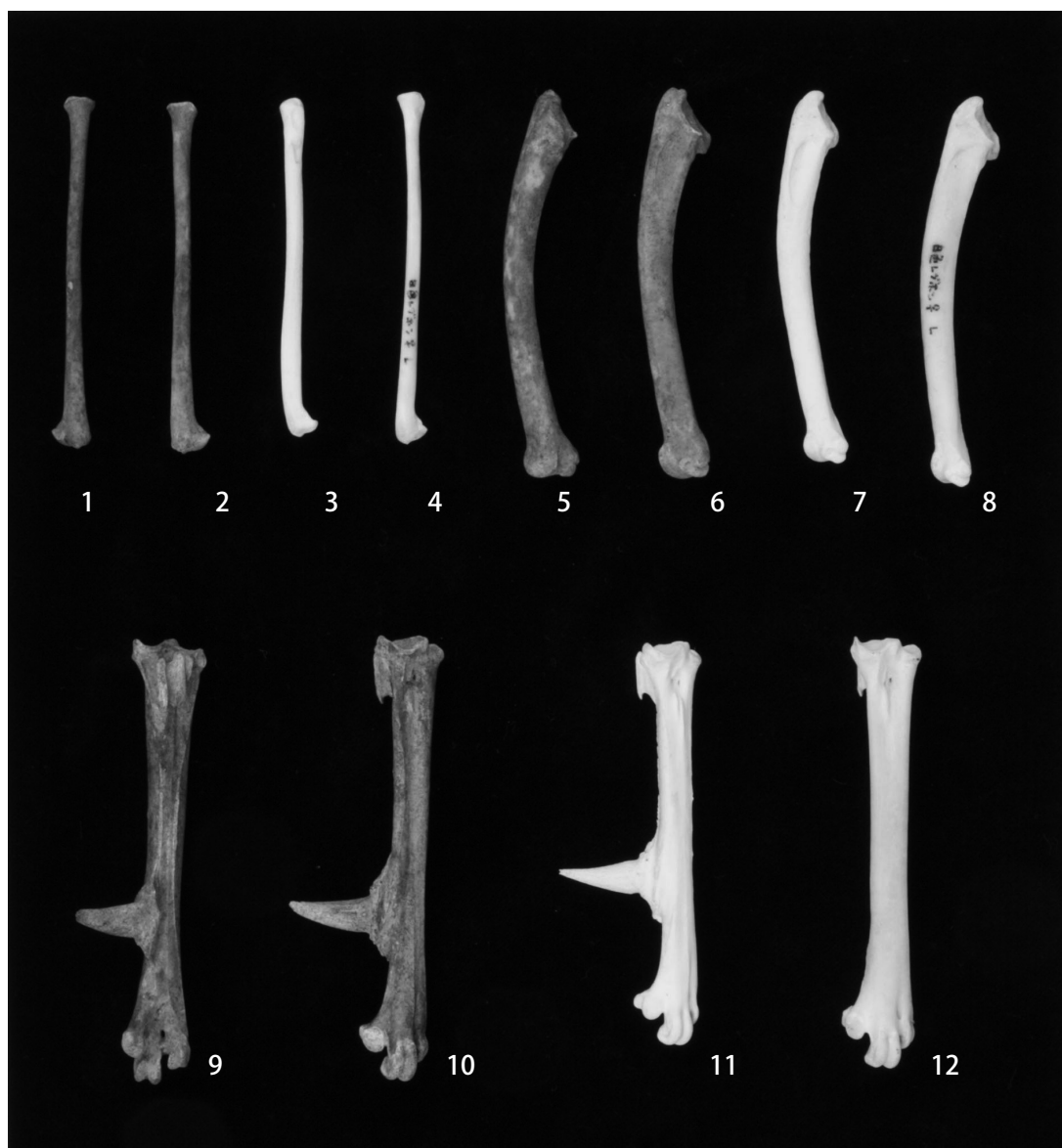


写真 出土ニワトリ骨・現生ニワトリ骨（約2/3）

1～4：橈骨（1・2：出土資料、3：現生オナガドリ♂、4：現生白色レグホン♀）、5～8：尺骨（5・6：出土資料、7：現生オナガドリ♂、8：現生白色レグホン♀）、9～12：中足骨（9・10：出土資料、11：現生オナガドリ♂、12：現生白色レグホン♀）1・5・9は右側、2～4・6～8・10～12は左側。

なお、細かな破片であるために、魚・鳥・哺乳類の区別さえも困難な骨片・焼骨片の出土量を表 9 に示した。

まとめ

本論で扱った戦国期～江戸時代初頭の動物遺体は食料として利用された動物が最終的に廃棄された結果と考えられるが、出土量も少なく清洲城下町遺跡における食生活の一部を反映して

表 10 貝類出土内容（川添和暁作成）
（鈴木編 2013CD-ROM 所収データから）

調査区	グリッド	遺構	日付	腹 足 綱										斧 足 綱										節足動物		その他不明	
				アワビ類	サザエ	オオタニシ		アカニシ		不明巻貝	マガキ	ヤマトシジミ	ハマダリ						アサリ				フジツボ				
								重量(g)	細片重量(g)				重量(g)	重量(g)	右点数	左点数	右重量(g)	左重量(g)	右重量(g)	左重量(g)	右重量(g)	左重量(g)		重量(g)	重量(g)		
10A	3572F	トレンチ掘削	100518				2	52.5																			
10A	3572H	トレンチ掘削	100518				1	8.0																			
10A	3472Q	トレンチ	100629				2	105.9																			
10A	3572A	003SK	100531																								
10A	3472U	020SP	100531											2	16.0	1	14.9	2.0									
10A	3472P	029SK	100528						13.3																		
10A	3473T	034SP	100531											15	56.1	14	44.4	21.1									
10A	3572F	検1	100610				1	572.1																			
10A	3473Y	検1	100521				1	27.2																			
10A	3473T	検1	100521				1	33.6	38.5																		
10A	3473T	検2	100609				1	41.6																			
10A	3472P	検2	100609																								
10A	3572G	検2	100607																								
10A	3573D	検2	100608											1	17.1	1	8.0	左右同一個体か									
10A	3573D	検2	100608													1	6.6										
10A	3472U	検2	100609													1	7.6										
10A	3473T	検2	100608											1	12.8	1	17.0	左右同一個体か									
10A	3472V	検2	100609						9.7					6	50.1	6	49.6	19.0									
10A	3572A	057SX	100527						18.9																		
10A	3572A	118SK	100602				3	42.2																			
10A	3473S	177SK	100621	2.2																							
10A	3573D	199SP	100609																								
10B		東照堀丸	100721																								
10B	3579F	418SD	100727				1	3.2		3	9.9	不明巻貝はサザエか?															
10B	3469V	443SD	100805				1	5.5																			
11A	3566R	南壁トレンチ	111020				1	97.1																			
11A	3567E	0055SK	110922											1	6.8	3	28.0	21.8									
11A	3566J	検2	110926											1	4.8			2.5									
11A	3567H	0173SP	110928											2	14.9			9.3									
11A	3567E	0187SK	110927				1	3.5						7	58.3	6	30.1	101.5									
11A	3567E	0187SK	110927						68.6			0.2	1	0.7	73	668.1	42	426.3	686.4								
12A	3567E	0187SK	110927				2	54.8	228.6			3.2		20	219.0	23	209.8	7.2							0.5		
11A	3467Y	0286SK	111011																								
11A	3566N	0318SK	111005				1	15.8																			
11A	3565KL	0327SK	111006				1	22.9																			
11A	3565HI	0334SK	111013				1	14.9																			
11A	3565CDH	0334SK	111006																								
11A	3565FK	0362SK	111011						3.5																		
11B		東側トレンチ	111102				1	16.7																			
11B	3564KL	0528SE	111109				1	5.3																			
11B	3564KL	0528SE	111031				1	3.8																			
11B	3564L	0530SK	111028				1	82.8																			
11B	3564LM	0538SK	111107						9.0																		
11B	3564NO	0553SK	111028											2	6.7	2	10.6	11.7									
11B	3563T	0668SK	111117				1	13.3																			
11B	3564O	0692SK	111114											4	13.2	2	3.3	19.6									
11B	3564O	0692SK	111115						3.4									2.7									
11B	3563Q	0750SK	111121				3	65.9																			
11C	3561L	0922SK	111216											1	1.6	2	13.8										
11C	3561S	0923SK	111208				1	40.4									2	19.1	1.6								
11C	3561N	検2	111212				1	12.7						1	3.6			2.6									
11C	3561N	0940SK	111209				1	7.1																			
11C	3561K	0941SK	111209																								
11C	3561K	0941SK	111209																								
11C	3561LQ	0943SK	111209														2	6.9	0.6								
11C	3561G	0949SK	111209						1.1																		
11C	3561G	0949SK	111212																								
11C	3561H	0951SP	111209																								
11C	3561L	0974SK	111214														1	2.2									
11C	3561MQR	0979SK	111216				1	379.2								1	6.4	1	6.8								
11C	3561L	0997SK	111220				1	70.7											5.1							2.0	
11C	3561KL	0977SK	111214				1	19.7																			
11C	3561L	0997SK	111219	13.8	1	7.3										1	9.0	2	12.4	2.2							
11C	3561L	0997SK	111219	2.7												1	4.7										
11C	3560N	0990SD	111219				1	9.5																			
11C	3561H	検3	111220														1	5.4									
11C	3561H	検3	111220	9.8										1	6.9	4	42.7										
総計				18.7	1	7.3	6	18.3	37	1860.5	394.6	3	9.9	3.4	1	0.7	144	1183.0	128	1009.7	952.1	1	1.2	1	1.2	0.5	2.0

いるにすぎない。けれども、この時代の食料内容がわかる出土動物遺体の報告は少なく、また本資料のように 1mm 目篩で水洗選別され、サンプリングエラーがきわめて少ないケースは稀であり、貴重な資料であると言えよう。特に魚類ではさまざまな海水魚・淡水魚が利用されており、タラ類のように他地域から流通によって持ち込まれた種も利用されていることが明らかになった。また、出土例の少ない中世後半期のニワトリの形質を知ることができるという点も重要である。(新美倫子)

引用文献

鈴木正貴編 2013『清洲城下町遺跡
XI』愛知県埋蔵文化財センター調査
報告書第 183 集